

届いた意見の概要	ご意見に対する考え方
<p>今年度の数字と比べた資料も提示          お願いします。再商品化によって、          トータルのリソース消費量で見ても、          省資源化が進んでいるのか、確認          はされているのでしょうか？個々の          再商品化率が高くて、そのために          石油エネルギーや人的リソースが浪          費されているのは、本末転倒です。</p>	<p>過去の容器包装リサイクル法の再商品化義務量の算定に係る量、比率等の資料につきましては、以下URLにある各          年度の審議会資料をご確認ください。</p> <p>容器包装リサイクルワーキンググループ  <a href="https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/haikibutsu_recycle/yoki_wg/index.html">https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/haikibutsu_recycle/yoki_wg/index.html</a></p> <p>また、再商品化によるトータルリソースの省資源化につきましては、今回の省令案等に対する御意見ではございませ          んが、今後の政策検討の参考とさせていただきます。</p>
<p>リサイクル業者の合理化が推進さ          れ、リサイクルに係る社会コストが          低くなるような施策やリサイクル法          の改定を実施して頂きたいと要望いた          します。</p> <p>容器包装リサイクル法のもと、容器          包装については様々なリサイクルが          実施され、プラスチック製容器包装          もリサイクルされてきました。また、          事業者もしっかりプラスチック量を申          請し、委託費用を負担し、排出者          としての責任を果たしてきました。</p> <p>しかし、リサイクル業者の経営は厳          しい環境にあり、委託費用が近年上          昇傾向にあります。さらに、来年度          からプラスチック新法が施行され、プ          ラスチック製品が追加されること          によって回収量の増加やペールの品          質低下が予想され、ますますリサイ          クル費用が増加すると危惧していま          す。このような状況を受け、意見内          容に記載しました通り、リサイクル業          者の合理化が推進され、リサイク          ルに係る社会コストが低くなるよう          な施策やリサイクル法の改定を          実施して頂きたいと要望いたしま          す。</p>	<p>今回の省令案等に対する御意見でないため回答は行いませんが、今後の政策検討の参考とさせていただきます。</p>